

2018年12月12日
損害保険ジャパン日本興亜株式会社

一般社団法人都城観光協会との『包括連携協定』の締結について

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、一般社団法人都城観光協会（会長：堀之内 芳久、以下「都城観光協会」）と、相互に連携・協力し、都城市とその周辺地域の観光振興および促進に取り組み、地域の一層の活性化に寄与することを目的として、12月12日に『包括連携協定』を締結したことをお知らせします。

1. 背景・経緯

- ・損保ジャパン日本興亜は「県民・行政、NPOなどとの地域の課題解決に向けた協働を通じ、持続可能な社会づくりに貢献すること」をCSRの重点課題のひとつに掲げており、宮崎県内トップシェアの損害保険会社として、地域と産業の安定的な繁栄を支援しています。
- ・このたび、培ってきたノウハウ等を活かし、都城地域の観光振興、地域の一層の活性化に貢献するため、都城観光協会との包括的な連携協定に至ったものです。

2. 協定の主な内容

- ・都城観光協会と損保ジャパン日本興亜は、以下の分野で連携します。
 - (1) 旅行者への安心・安全な旅行の提供に関すること
 - ・「訪日旅行保険」を活用した外国人旅行客の受け入れ体制構築
 - ・観光協会会員向け「災害時等の外国人旅行客対応セミナー」の開催 など
 - (2) 都城観光協会及び都城観光協会会員のリスク管理に関すること
 - ・お祭り、イベント開催時のリスク管理相談
 - ・リスク管理セミナーの開催（BCP策定支援など） など
 - (3) 都城の魅力発信に関すること
 - ・損保ジャパン日本興亜・新宿本社ビルで開催する「宮崎マルシェ」において、都城の名産品販売、観光パンフレット配布など、都城の魅力を発信
 - ・損保ジャパン日本興亜のビルにおいて、イベントポスターなどを掲示 など
 - (4) その他、都城の観光振興、促進および地域活性化に関すること

3. 今後について

損保ジャパン日本興亜は、今後も各地域がそれぞれの特徴を活かした自立的で持続的な社会を創出することに貢献していきます。

以上